

平成30年度 英語が好きになる学校づくり事業 取組報告書

事務所名	県北教育事務所	学校名	洋野町立大野小学校	TEL	0194-77-2122
------	---------	-----	-----------	-----	--------------

英語を通して、友達や先生とつながる楽しさを味わわせる
授業づくりと環境づくり

【ねらい】

英語という言語のもつ「コミュニケーション」ツールとしての本来の役割を、ただ単に知識理解として学習するだけでなく、その学ぶ場や学ぶ内容を通して、友達や教師とかかわること自体が楽しいと思えるような授業の構成、学級づくり、環境づくりを、理論的・実践的に追究し、子どもが自信をもって自己表出したり、他とかかわったりできるようになることをめざす。

○ 取組の計画

重点課題	取組内容
<重点課題A> ○ 児童の英語に対する興味 関心を高める環境づくり	<ul style="list-style-type: none">● 全校児童の注目する場所に掲示のコーナーを作り、友達と一緒に文字や絵などを楽しんで見たり、交流し合ったりする場の設定。● 授業以外で、英語の歌や遊びを通して、英語の音声やリズムに慣れ親しむ。
<重点課題B> ○ 児童が自信をもって自己 表出できるための集団形成	<ul style="list-style-type: none">● 正解を追究する学習ではないことを共通の認識とし、抵抗感のある児童に意欲と自己表出の勇気と機会が与えられるような学習の約束づくり。● 「話す」「聞く」「歌う」「遊ぶ」「絵を描く」「単語をまねる」等、様々な活動を位置付けた単元及び授業
<重点課題C> ○ 英語を用いた指導の充実	<ul style="list-style-type: none">● ALT や DVD 等のコンテンツの活用方法の工夫。● 教師の英語運用能力を高める校内研修の充実



《成果等の把握と検証の手立て》

- 児童へのアンケートの実施
- 取組の記録を残す

【具体的な取組】

<重点課題A> 児童の英語に対する興味関心を高める環境づくり

イングリッシュルーム

英語を楽しく学ぶ雰囲気作りのため、特別な教室「イングリッシュルーム」を新設した。



壁面には、英語の学習に出てくる英単語のカードやポスターを掲示して、授業の時にも活用できるようにした。

掲示コーナー

全校児童の目にふれる場所に、英語関連の掲示をし、楽しく自然に英語にふれ、親しむことができるようにした。



(保健室の掲示)

保健室に関係のある体の名前や、気分を表す英語を掲示している。



掲示コーナーでは、英語の発音の仕方をカタカナで表示していない。掲示を見ながら行う児童同士の教え合いが「つながる楽しさ」になると考えた。

給食時間

ALTの来校日には、給食のメニューを英語と日本語で放送している。給食を食べながら、身近な食べ物の英語が自然と耳から入るようにした。

牛乳は“milk”
ご飯は“rice”



中学生による英語の暗唱

洋野町の英語暗唱大会で1位になった本校の卒業生を全校朝会に招き、上手な英語の暗唱を聞かせてもらった。6年生は、先輩から中学校での英語の学習についても教えてもらった。



音楽朝会

音楽朝会の歌に英語の歌を設定し、全校で英語に親しんだ。



<重点課題 B> 児童が自信をもって自己表出できるための集団形成

正解を追究する学習ではないことを共通認識とし、児童が自己表出する勇気と機会が与えられるような学習の約束づくりをした。



「一緒に考えたり悩んだり、教室には何でも話せる仲間がいる。」という安心感をもち、積極的に思いを伝え合い、認め合うことができるようになってきている。



学習した後は、自己評価で学習したことや取り組み方の振り返りを行う。外国語活動の楽しさを改めて実感、共有することで、次時への期待を高めることもできた。



3、4年生も外国語活動を行っている。4年生は、外国語活動の楽しさを表現する場として学習発表会の劇に英語を取り入れた。英語に慣れ親しみが増している4年生は、大勢の前でも堂々と英語の台詞を言うことができた

<重点課題 C> 英語を用いた指導法の充実

校内研究会では、外国語活動のねらいの確認や授業法の交流などを行った。授業研究会で実際の授業の様子を見て、目指す授業の姿を共通理解することができた。

ALT と授業の打合せ以外でも積極的に関わることで、授業での連携が向上した。ALT との役割分担と連携により、子どもたちにとって楽しくわかる授業づくりにつながった。



担任と ALT が、活動の手本を示すことで、児童が活動内容を理解し、安心して取り組むことができる。

大型ディスプレイや DVD、絵カードを有効に活用することで、児童が視覚的に英語を捉えることができる。



よく使う
クラスルーム
イングリッシュ

あいさつ
Good morning.
Hello!
How are you?
See you.
Have a nice day.

指示
Stand up. Sit down.
Listen. Make pairs.
Look.
Open your textbook.

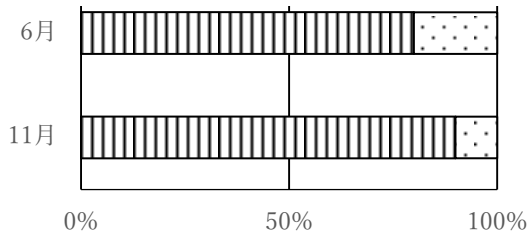
ほめる
Good job.
Great!
Wonderful!
Excellent!
Good idea!

【検証・考察】

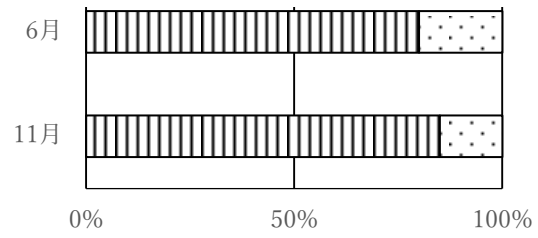
児童アンケート（対象児童：6年生）

■とても思う □どちらかといえばそう思う ■あまり思わない ■思わない

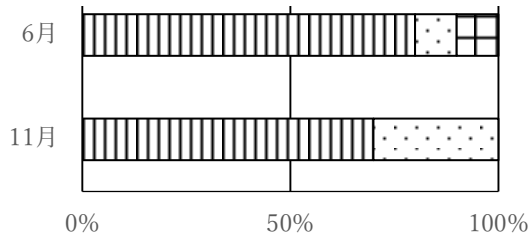
1. 「外国語活動」は楽しいですか。



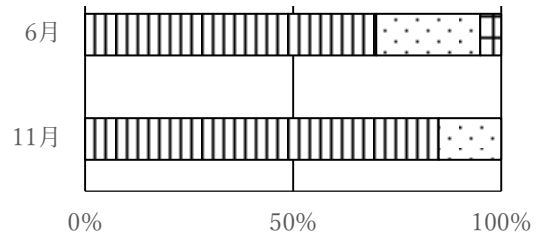
2. 「外国語活動」の時間が好きですか



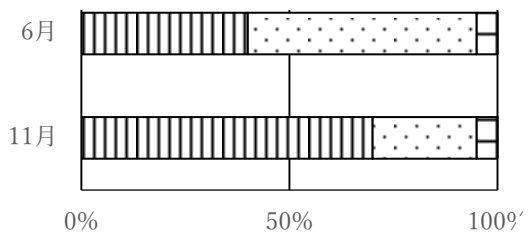
3. 将来、英語は役に立つと思いますか。



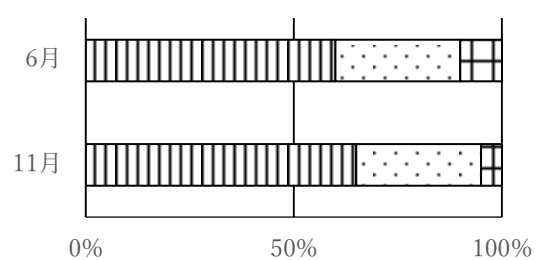
4. 将来、英語を使えるようになりたいと思いますか。



5. 英語を使って友達とかかわったりかかわろうとしていたりしていますか。



6. 英語を使って友達と話すことが好きですか。



自由記述

- ・ キーワードゲームが、おもしろくて覚えやすい。
- ・ 英文を読めるようになりたい。
- ・ 将来、英語をすらすらと話して、外国に行っても対応できるようにしたい。
- ・ 中学生がペラペラだったので、そうなれるようにしたい。
- ・ 英語で知らない言葉を知ることができてよかった。
- ・ 外国の人と、自分から話をしてみたい。
- ・ 英語を言うだけでなく、書くこともやりたい。
- ・ 友達と簡単に会話できるようになりたい。
- ・ (将来の夢)に役立つと思う。
- ・ 5年生の時は苦手だったけど、6年生になったら楽しくなって、家でも本を買って練習している。英語をすらすら言えたら外国人と話せるので世界が広く感じられそう。
- ・ その日に覚えたことをみんなと話して使えるから楽しい。
- ・ English is very fun!

児童へのアンケートでは、質問1～4で全員が肯定的な回答をしている。質問5、6でも、ほとんどの児童が肯定的な意見をもっている。6月と比較すると、質問3、4で否定的意見をもった児童がいなくなり、質問5で「とても思う」と回答した児童の割合が増えている。これらのことから、今回の取組が一定の成果に結びついたことが確認できた。

また、普段の様子からも、「今日は難しかったけど次はできるようにしたい。」「もっと英語を話せるようになりたい。」という前向きな振り返りが多く、意欲的に学習をしている。「その日に覚えたことをみんなと話して使えるから楽しい。」と、学習した内容をツールとして、友達とコミュニケーションを図っている児童もいる。たくさんの表現活動や英語を身近に感じられる環境により、友達や先生とつながる楽しさを感じることに繋がってきていると考える。

【成果】

- イングリッシュルーム、掲示コーナー、放送、集会活動など全校児童が英語に触れ、親しむことができるように取組んだことで、英語を身近に感じ、外国語活動の授業に対する興味・関心の高まりがみられた。
- 発表し合い、考えを共有する楽しさを知り、積極的に思いを伝え合おうとするようになった。
- 校内研究会や研究授業などにより、教員の外国語活動に対する関心を高め、理解を深めることができた。